

プロママが
教える!

Haport 国際部

毎月違ったテーマでお届けするHaport〇〇部

今回は「JICA北海道センター(帯広)釧路デスクに在籍の2児のママ原嶋麻子さん」
に、お仕事について、釧路地域で暮らす子育て中の外国人・日本人パピママが集う交流会の情報について教えていただきました。



JICAとは?

日本の政府開発援助(ODA)を行う実施機関。「信頼できる世界を繋ぐ(leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせて、発展途上国が抱える課題解決を支援しています。

JICA釧路デスクのお仕事は/

- ①多文化共生社会の推進
- ②外国人受け入れ支援の推進
- ③国際関係の地方創生のサポート

仕事を始めたきっかけ

世界では戦争や災害が日々起こっています。子どもたちには、世界での出来事を他人事ではなく友達事として、考えられる大きな心を持つ人間に育ってほしいと思っています。世界中に友達を作るきっかけを作ってあげたいと思っていた頃、ご縁をいただき、この仕事に挑戦することになりました。これから日本では人口減少が進み、外国人と日本人と一緒に暮らすことが当たり前になっていきます。地域の子どもたち、そして巡り巡り自分たちの子供たちの未来が明るくなるよう、お近くに住む外国人のパピママをご存じであればご紹介いただくと嬉しいです!



釧路初!原嶋さん
プロデュース企画イベント

せかいのばば・まま交流会

9月に第1回目の交流会が開催され
10組・23人の親子が参加!

第2回 11月16日(土) お寺に行ってみよう!
アフリカの「あそびうた」遊び

第3回 2月5日(水) 冬の防災を学ぼう!消防車と記念撮影



お問い合わせ 電話:080-2571-7523 メール:jica_kushiro_desk@jica.go.jp

今回の部長



JICA北海道センター(帯広) 釧路デスク 原嶋 麻子(はらしまあさこ)さん

2014年中標津町地域おこし協力隊に着任し中標津町に移住。退任後は(一社)なかしべつ観光協会の事務局長を務め、結婚を機に退職。夫の転勤で釧路へ。現在5歳3歳を育てるママ。

2024年3月JICA北海道センター(帯広)釧路デスクに着任。釧路根室地域の多文化共生社会の推進、外国人受け入れ環境整備の支援などに取り組んでいる。

島国で暮らす日本人にとって文化の違う外国人とのふれあいに不安に感じることもあるかもしれませんが、共通点を見つけ、違いを楽しんでください!日本人も外国人も地域をつくるパートナーとしてお互いに助け合い、一緒に地域を盛り上げていきましょう!